

今、何の病気が流行しているか！

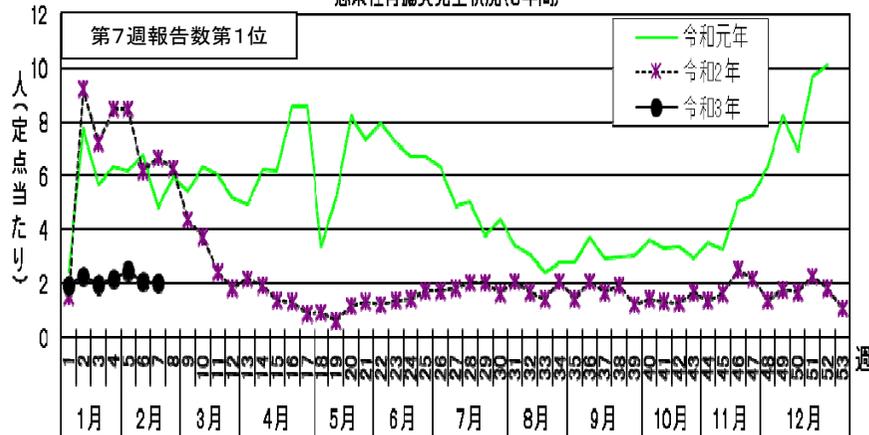
【感染症発生動向調査事業から】

令和3年2月15日（月）～令和3年2月21日（日）〔令和3年第7週〕の感染症発生状況

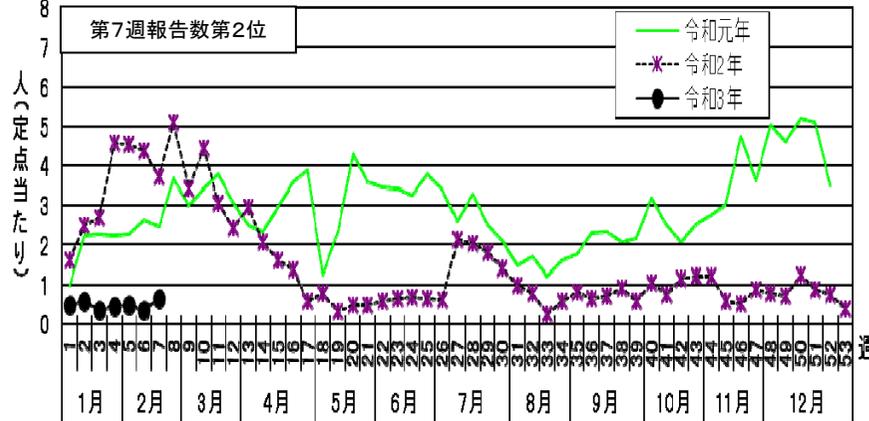
第7週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（2.08人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.64人と前週（0.36人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.47人と前週（0.50人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



子ども予防接種週間～予防接種はお済みですか？～

3月1日から3月7日までの7日間は「子ども予防接種週間」です。
 予防接種は、感染症にかかりやすい年齢などをもとに、接種の時期が決められています。接種時期が遅れると、必要な免疫がつくのが遅れ、重い感染症になるリスクも高まります。特に昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けて、接種が遅れているお子さんもいらっしゃるかと思います。
 4月からの入園・入学に備えて、この機会に早めに接種を受けましょう。

小児の定期予防接種の種類

- ◆ヒブワクチン
- ◆小児用肺炎球菌ワクチン
- ◆B型肝炎ワクチン
- ◆ロタウイルスワクチン
- ◆DPT-IPV（1期）、DT（2期）ワクチン
※D：ジフテリア、P：百日咳、T：破傷風、IPV：不活化ポリオ
- ◆BCG（結核）
- ◆麻疹・風しん混合（MR）ワクチン
- ◆水痘（水ぼうそう）ワクチン
- ◆日本脳炎ワクチン
- ◆ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン



予防接種に際して

- 定期予防接種を受けられる医療機関
 川崎市予防接種個別協力医療機関
- 予防接種を受けるときに持っていくもの
 ①川崎市予防接種予診票
 ②母子健康手帳
- 予防接種の費用
 定期予防接種：無料
 任意予防接種：有料
※医療機関ごとに料金は異なります。



問合せ先

- 川崎市予防接種コールセンター
 電話番号：044-200-0142
 受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで
 月曜日から金曜日（祝日、年末年始除く）



医療機関により予防接種の日時は異なります。また、予約が必要な場合がありますので、事前に確認しましょう。

